

令和5年度下半期財政の状況

(令和5年10月1日～6年3月31日)

市民の皆さんのが納めた税金の使いみちと市の財政状況を、毎年2回公表しています。

今回は、5年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計(水道事業・下水道事業)は「広報あきしま」7月号でお知らせします。

31日現在のものです。5年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

1日号でお知らせします。なお、数値はすべて6年3月31日現在のものです。5年度の歳入・歳出の執行額は5月31日に確定するため、実際の決算額とは異なります。

5162万円です。執行状況は

図1のとおりで、歳入では収入率が92.3%、歳出では執行率が83.3%となっています。

○未来を担う子どもたちが育つまち
新たな学校給食共同調理場の整備工事を行いました。また、子育て世帯を支援するため、義務教育就学児医療費助成制度の所得制限を撤廃し、対象を拡大しました。

○文化芸術、スポーツの振興を図るまち
総合スポーツセンターや市立会館の空調設備を改修しました。

図2 市有財産	
土地	58万9546m ² (学校・公園など)
建物	22万3577m ² (学校・市庁舎など)
出資による権利	1億2294万円 (昭島市育英会など)

表1 積立基金(貯金)	
一般会計	現在高 財政調整基金 92億4928万円
特定目的基金	100億7033万円
特別会計	13億4919万円
合計	206億6880万円

※財政調整基金＝財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金＝公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

表2 市債(借金)	
一般会計	現在高 (元金の残高)
建設事業債	76億2020万円
災害復旧債	4020万円
特例地方債	84億3025万円
合計	160億9065万円

※建設事業債＝学校・道路・公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※災害復旧債＝自然災害により被災した公共施設の復旧のための借入金
※特例地方債＝財源の不足を補うための借入金

図3 市民1人当たり・1世帯当たりの市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金	
6年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。	
【市民1人当たり】	【1世帯当たり】
市税負担額 19万5434円	39万1832円
市民サービス費用 41万6260円	83万4574円
貯金 18万391円	36万1671円
借金 14万434円	28万1561円

※6年3月31日現在の人口は11万4578人、世帯数は5万7148世帯です。

表3 5年度特別会計 岁入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額(収入率)	支出済額(執行率)
国民健康保険	127億1765万円	104億3650万円(82.1%)	103億4934万円(81.4%)
介護保険	107億1391万円	101億9573万円(95.2%)	91億5812万円(85.5%)
後期高齢者医療	30億6060万円	30億1570万円(98.5%)	30億2988万円(99.0%)
中神土地区画整理事業	5億2300万円	2億8829万円(55.1%)	2億8293万円(54.1%)
中神駅北側地域整備事業	8億4900万円	6億5397万円(77.0%)	6億6544万円(78.4%)
合計	278億6416万円	245億9019万円(88.3%)	234億8571万円(84.3%)



☆詳しくは、財政係へ。

将来を見据えた計画的な財政運営を進めます。積極的に展開し、地域特性を活かした事業をたまごづくりを実現するため、市と民間の連携を図り、地域の持続可能な発展をめざします。このように中でも、市民サービスの維持・向上のため、そし

て、地域特性を活かした事業を実現するため、基金の取り崩しにより、22億7000万円の財源不足を補わなければなりません。

5年度は、物価高騰対策に関する事業を実施するとともに、学校給食費の無償化や、5年度に引き続き市民総合交流拠点施設の整備工事を実施しました。6年度は、市制施行70周年記念事業を実施するとともに、学校給食費の無償化や、5年度に引き続き市民総合交流拠点施設の整備工事を実施しました。

特別会計は、特定の事業を行

う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

特別会計は、特定の事業を行